平成18年3月1日（水）　発行　第59号

わがまち　まごめ

発　行　わがまち大田馬込地区推進委員会
事務局　馬　込　特　別　出　張　所
〒143-0027　大田区中馬込3－25－5
☎（3774）3301㈹
馬込特別出張所ホームページアドレス
http://www.city.ota.tokyo.jp/ota/kita/magomes/index.htm

武蔵野の面影（二）

巨樹を訪ねる

馬込の散歩道　その二十

環境省が「緑の国勢調査」（自然環境保全基礎調査）をするとき、「巨樹・巨木」の基準を「地上1・3mの幹周りが3m以上の樹木」と決めています。馬込にもこのような「巨樹」に相当する古木が生きているのでしょうか。馬込の主を訪ねてみました。

◇カリンの並木〔前号から続きます。〕

「郷土博物館の樹林」を博物館正面側から出ます。西馬込駅への坂を見下ろすと、あまり目立ちませんが、道の両側にも、街路樹が植えてあります。

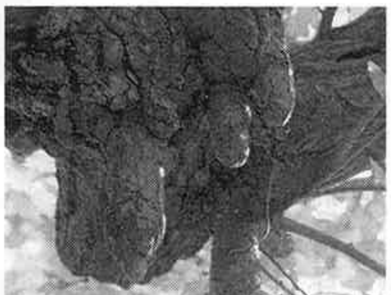
街路樹にはめずらしい〝カリン〟（バラ科ボケ属）です。漢字で「花梨」と書くように、花はバラ科らしいやや大きめのピンク色、洋梨に似た大きな実をつけます。実にはカリンポリフェノールという化学物質を含み、それがのどの炎症に効くので、昔から砂糖漬けやジャムや果実酒を作ったり、主に薬用として大事に使いました。樹肌が鱗片状にはげ落ち、雲もようになっているのも特徴です。成長が遅いので、大事に育てたいものです。

◇馬込の主

道を挟んだ筋向かいに、湧き上がる緑の雲のような盛り上がりが見えます。湯殿神社の鎮守の森です。（19号参考）

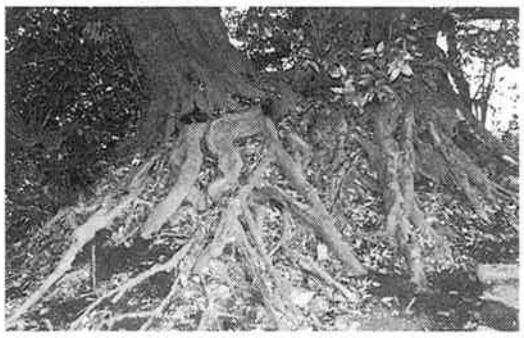
この森の主役は〝イチョウ〟（イチョウ科・属）です。イチョウは雌雄異株で、雌雄の区別があります。ここ湯殿神社のイチョウは、本殿に向って右が雄木、幹周り4m30。左が雌木、幹周り3m20。

どちらも巨樹の基準を超えた立派な樹です。高さは20mもあるでしょう。鳥たちにとっても目立つのか、移動中に立ち寄ったり、集散の定点に利用する鳥も見かけます。イチョウの樹は大きくなると〝乳〟と呼ばれる気根のような垂れ下がりができることがありますが、このイチョウにも〝乳〟が見られます。



この樹の年齢は、神社の創建と同じくらいでしょう。しかし湯殿神社の建った年は明確ではありません。『新編武蔵国風土記稿』の神社リストの記載を基に考えてみると、少なくとも200年はたっているのでは、と推定されます。銀杏がなるのは雌木。銀杏は食用にも咳止めにもなります。

社殿の裏にはこの森の第二の主役、大きなスダジイが茂っています。スダジイと似た葉や実樹肌が少し違うマテバシイ（ブナ科マテバシイ属）もあります。この実もスダジイと同様煎って食べることができます。



風雨に洗い出された根が編み目のようにみごとに、土をとらえています。

◇静かな日だまり

湯殿神社の鳥居をくぐり返し、花梨並木へともどり、西馬込駅側へほんの少し行くと、右側奥の入口に「湯殿公園」とあります。ちょっとのぞいてみます。

半周を緑に囲まれた日だまりです。子どもの登校時間は「静」の空間。今、外で遊ぶ子どもを見かけることは少ないのですが、夕方のこの空間は、子どもたちがあふれる「動」の空間に変わります。そして「緑」は鎮守の森から続く斜面林です。

◇ヒノキの香り

再び鎮守の森へもどって、次の「八幡様のシイの木」を訪ねます。

バス通りの一つ手前の道を左に曲がると、右側コンクリート塀にそって7〜8本のヒノキが植えられています。

屋敷林の名残でしょう。風のないときにこの下を歩いていると、ほのかにヒノキの香り（ヒノキチオール）を嗅ぐことができます。

◇そして八幡様

八幡神社入口の、大きなスダジイ（ブナ科シイ属）は、幹周りが3mを少し超えるので、巨樹の仲間に入ります。

その他樹高20mを超すイチョウ、ケヤキなどがのびのびとそびえています。

馬込の森林浴コースを紹介しました。

まごめ文芸　春

＝俳　句＝

椋鳥俳句会（三月）

メコン川揺られ揺られて春日和　（ひまわり）
透明傘うっすら積る春の雪　（朱鷺）
椋鳥の二三羽ひそむ雪椿　（村上和代）
億兆京垓関せずの日向ぼこ　（椋鳥）
せがまれて作るちらしや雛祭　（大石敬子）

＝短　歌＝

坂道の多き馬込に住み馴れて
遅き夕餉の魚焼きおり　大橋　佑江

雪吊りの影やわらかに夕づける
梅園に濃し香りの密度　川村　貴美

花のかおりまといたる手にペン持
ちて雪のふる里へ花便り書く　窪田あつみ

インバネス、ソフト帽、ステッキに
歩みいし俤は顕つ今日犀星忌　山本千恵子
（昭和37年3月26日室生犀星没）

コイン二個箱に投げ入れ二本採る
青菜も鮮やか馬込のだいこん　吉田　幸男

＝川　柳＝

席題『春』　川柳遊芳会
選者　近江あきら（小）

酷寒に負けてなるかと福寿草
春風にねぼけ蛙が欠伸する　佐一郎
初春に目出度さ重ね曾孫産る　妙子
世田谷で春を見つけるボロの市

この「わがまちまごめ」は古紙配合率100%の再生紙を使用しています。

馬込の火の見やぐら

大正12年、関東大震災時の馬込の火の見やぐらは、明治時代に増築された馬込小学校の校舎（現在の桜門のあたり）にあったそうです。（本紙創刊号参照）

現在の望楼は三代目です。場所も初代の火の見やぐらの場所と違い、昭和39年4月から今の姿で、現在の大森消防署馬込出張所の上に建っています。

その『馬込の望楼（ぼうろう）』が、残念なことに平成17年度で、その姿を消すことになりました。

建物の耐震基準が変更され、馬込の望楼も建築時には基準を満たしていたものの、最新の基準には達していないため、万が一のことを考慮し、屋上以上を取り壊すことになったそうです。

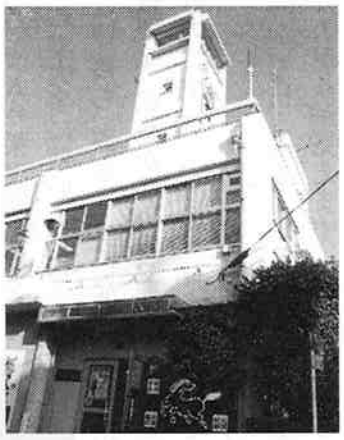
資料によると、すでに「東京消防庁の望楼は、昭和49年から23区・多摩地区ともに、運用を停止している」とのことです。理由は、「周囲の高層化や電話の発達によるもの」だそうで、火事が発生しても望楼から見つけられないのでは役に立ちません。

馬込の望楼も、どこかから見えるかとあちこち歩きまわってみましたが、見えても家々の隙間からチラッと見えるという程度で、少し離れてみると、全然見つかりません。高い所に登らないと無理なのでしょうか……。

馬込望楼は、昭和39年、消防史上まれに見る大火災を最初に発見し、大活躍でした。『月島倉庫の大火災』は、消防士・消防団員あわせて19名の命を奪い、東京中の消防車が集結したことで、当時たいへんな話題となりました。

その望楼の一般への公開が、昨年11月に行われましたが、本紙が発行される頃には、その姿が大きく変わっていることでしょう。

今まであったものが、なくなってしまうということは寂しいことですね。



さて、3月1日～7日は『春の火災予防運動』が行われます。

昨年は馬込地区内で深夜の放火が相次ぎ、幸い犠牲者は出なかったものの、いつ発生するかわからない火災に対し、各ご家庭でも万全の予防対策を考えていただきたいものです。

また今年6月から消防法が改正され、新築や改築の一般家屋への火災警報器の設置が義務化されますし、数年内にはすべての既存住宅への設置も義務化されるのだそうです。

町会等によっては、消防署と連携して、住宅用火災警報器の一括割引き購入を始めたところもあるようです。この際万一に備え、法令化の先手を打って購入の上、取り付けてはいかがでしょうか。

馬込情報

◎日赤献血にご協力を

3月1日㊌＝ライフコミュニティ西馬込
3月2日㊍＝北野会館
3月3日㊎＝馬込三本松会館
10時～11時半、12時半～15時半

◎第16回馬込文士村大桜まつり

日時＝4/2㊐12時～16時　雨天決行
会場＝桜並木公園、桜並木通り

流し踊り・阿波踊り・馬込東中学ストリートダンス・馬込中学ソーラン踊り・郡上市明宝の物産・文士村グッズ販売。

◎大田区こどもガーデンパーティー

日時＝4月23日（日）10時～15時
馬込会場＝馬込第三小学校

本年から、大田区こどもガーデンパーティー実行委員会と青少対馬込地区委員会主催。馬込地区自治会連合会共催で開催します。

◎介護保険一部見直し

四月から介護保険サービスが一部見直されます。予防介護に力点が置かれてます。詳細は次号で。

◎折紙講習会

昨年11/27にライフコミュニティ西馬込に於て、ライフコミュニティ西馬込運営委員会主催の折紙講習会が開催され、88名の方々が参加。

◎松原橋の欄干に飾り照明復活

第二京浜国道の松原橋の欄干に昔あった飾り照明は、戦争中に取りはらわれたままであったのが、昨年11月に再び昔のように飾り照明が復活しました。

◎梅田小学校の体育館取り壊し

築45年以上経った梅田小学校の体育館が取り壊されました。新しい体育館が隣接地に建築されます。

◎熊谷恒子記念館 1/4～6/25
常設展「かなが誘う早春の世界」

◎龍子記念館 1/4～4/21
川端龍子―風景画奥の細道

「寝釈迦」昭和29年龍子の第二の故郷ともいえる伊豆の修善寺の風景画、富士を見晴らす梅林と、その間に横たわる一連の丘陵を釈迦が寝ている姿に見立てられこの俗称がついた。見事な大作。

昭和25年から四国遍路、西国三十三か所、坂東三十三か所を巡礼、32年に富士山頂を極めた。

奥の細道を松尾芭蕉翁と同じ季節同じ行程を辿り、目に触れた自然の美等心たのしい写生を試みた。

龍子の作風の変遷とともに、社会の時代変化を見られるのでは。

◎郷土博物館 2/19～4/9
企画展―馬込文士村の時代
昭和前期の馬込・山王・新井宿

馬込文士村に多くの芸術家たちが暮らしていた頃(昭和前期)の町の姿や作家たちの関連写真を現在の写真とともに紹介する。

企画展にあわせて、新しい馬込文士村の散策マップを作成し販売する予定。

馬込は九十九谷、起伏に富んだ地形も散策にはまた趣があると思います。

会期中の催し　☎3777―1070
2/5㊏講演会＝地図で見る馬込・山王・新井宿
2/26㊐馬込文士村まち歩き
3/12㊐講演会＝文学作品にみる東京の文士村とその景観
3/25㊏馬込文士村まち歩き
4/5㊌～8㊏馬込文士村ボランティアガイド養成講座(入門編)

◎大田区青少年表彰

3月5日青少年健全育成大会で、馬込ジュニアリーダーから、次の4名が表彰されます。

東舘　あゆみ　中村　紗奈江
乗附　光　井上　友彦

※桜まつりで俳句を募集

馬込文士村大桜まつり会場で俳句を募集します。

テーマ＝桜まつりにちなんだ作品
応募方法＝当日本部前に設置する投句箱に12時～15時の間に入れてください。用紙は自由。住所・氏名・年令を記入。
入選作発表＝情報紙わがまちまごめ60号に掲載。馬込特別出張所のホームページにも掲載。
（発表は作品と作者名のみです）

多数のご応募をお待ちします。

編集後記

丙戌の歳が良い年であるように願っていましたが、この頃のメディアの報道を見聞きするにつけ、何かが間違っているのではないかと不安な気持ちにさせられます。

平和であるはずの馬込でも最近空き巣や放火が多くなりました。空き巣は、本当に誰もいない時ばかりでなく、お風呂に入っていたり仮眠している時だったりしたら……と思うととても怖いものがあります。放火場所も車のガソリンのそばだそうです。隣り近所声をかけ合ったり、道で会ってもあいさつをするように、何とかこのわがまちまごめだけでも、平穏でありますようにと願うばかりです。

この「わがまちまごめ」は古紙配合率100%の再生紙を使用しています。